

令和4年6月 市長定例記者会見

令和4年5月30日(月)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいまより令和4年6月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

【記者】

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいまより令和4年6月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表に係る質疑応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、まず挙手をお願いいたします。そして、ご自席のマイクのスイッチを入れていただきまして、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

それでは、市長、よろしく申し上げます。

【市長】 5月22日に国道8号の敦賀防災の起工式がございました。本省の村山局長もお見えになりまして、国交省としても力を入れているということを感じた次第であります。起工式、ここからスタートですので、しっかりと工事が前に進むように敦賀市も協力して努力していきたいと考えております。

5月25日に日本港湾協会の第95回の定時総会が長崎県の佐世保市で行われました。5自治体が発表の機会をいただきまして、敦賀市も発表させていただきました。敦賀港におけます高効率ユニットロードターミナルの形成ということで提案、要望をさせていただいたところです。

また、5月27日に佐賀県鳥栖市内航RORO船敦賀・博多航路利用促進セミナーを近海郵船と福井県と一緒に主催させていただきました。少しでも山陰を通して博多―敦賀港の間の荷物が増えるようにということで、働きかけていきたいと思っております。

それから、消防大会を開催しました。非常に天候に恵まれまして、消防団員の立派な姿を見ることができました。市民の方にたくさん見ていただきまして、消防団員のそれぞれの士気高揚、また市民の方々の安全、安心につながったのではないかと考えております。

最後に、コロナに関しましては、今日から拡大注意報に変更になっておりますので、施設についても緩和しておりますが、なかなか人数的には減っておりませんので、感染拡大した場合、また敦賀で特殊な事情があった場合は、しっかりと対応していきたいと考えております。

どうぞよろしく申し上げます。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 今日は事業発表が7項目ございます。よろしく申し上げます。

1つ目、6月補正予算についてです。

今回の補正予算につきましては、原油価格・物価高騰等の対策や国、県補助金の内示決定に伴うものなど、早急に予算措置が必要となったものを計上いたしました。

まず、原油価格・物価高騰等の対策につきましては、現在発行している電子クーポン「つるが割」に加えまして、割引額を拡大した「つるがプレミアム割」を発行することにより、消費者及び中小企業等を支援する経費を計上いたしました。

また、農業経営を支援するため、高騰する肥料の経費に対する補助金を計上いたしました。

そのほか補正予算の事業としまして、総務費では、敦賀市版スマートエリアの形成に向け、再生可能エネルギーの地産地消に取り組むなど、地域の脱炭素化を推進する経費を計上するとともに、愛発地区でのドローンを活用したスマート物流の社会実装に係る経費を計上いたしました。

また、市庁舎整備について東側来庁者駐輪場整備等の工事費を計上するとともに、地域での共助による除雪活動を支援するため除雪機の購入に係る補助金を計上いたしました。

商工費では、「人道の港」にゆかりの深いアメリカ及びカナダの関係者との面談等のため使節団を派遣し、ネットワークの拡充やアフターコロナを見据えた誘客促進を図る経費を計上いたしました。

土木費では、今年秋に供用開始を予定しています駅西広場公園の管理に係る経費を計上いたしました。

企業会計では、水道事業会計において、現在実施している上下水道料金に係る窓口業務の包括的委託契約の更新に向け、債務負担行為を計上いたしました。

以上が今回の補正予算の概要でございます。

それから、2つ目のクリーンアップ大作戦についてであります。

市民総ぐるみ環境美化運動・クリーンアップふくい大作戦の実施について、6月の環境月間に合わせまして、美しい自然環境や住みやすい生活環境の保全のため、市民総ぐるみ環境美化運動・クリーンアップふくい大作戦を実施します。各地区や事業所等で清掃活動にご協力をお願いいたします。

また、クリーンアップふくい大作戦の一環として、市民一人一人の環境への関心を高め、環境保全活動への積極的な参加推進を図るため、6月5日曜日に、敦賀の観光名所であります気比の松原周辺におきまして一斉清掃活動を実施いたします。この気比の松原クリーンアップにつきましては、コロナウイルス感染症の影響で2年間中止していましたが、このたび3年ぶりに開催します。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

それから、総合運動公園ちびっこ広場の1次オープンですが、昨年10月から工事を進めてまいりました総合運動公園ちびっこ広場が多世代型ウェルネス広場としまして6月5日曜日に利用可能となります。今回、老朽化した大型複合遊具等の更新に合わせまして、子供たちの年齢に合わせた複合遊具、ウォーキングしなくなるような仕掛けを施した園路、快適に利用できるトイレの整備など、幼児から高齢者まで様々な世代が楽しみながら体力づくりや健康づくりに取り組むことができる広場としてリニューアルいたします。

当日は、ケータリングカーの出店、出張健康ステーションの設置、健康アプリ「敦とんあるこ」のウォーキングポイントイベントの開催、ローラー滑り台及びちびっこゲレンデ

無料開放をいたします。

今後も総合運動公園の様々な施設も併せてご利用いただき、市民の皆様が親しまれる公園を目指して取り組んでまいります。

なお、今回のオープンにつきましては1次オープンとっておりますが、グラビティレールという遊具があるんですけれどもまだですので、それができましたらリニューアルオープンになるということで進めていきたいと思っております。

それから、第40回「親子のフェスティバル」についてでございます。

毎年恒例の親子のフェスティバルにつきましては、今年は会場開催と放送形式の2部構成で実施します。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために嶺南ケーブルネットワークによる放送形式のみで実施しまして、一昨年は中止にしておりましたが、今回は2部構成ということで、第1部は、6月19日日曜日の午前10時から午後2時まで、旧敦賀北小学校の校舎を利用し各教室に会員団体による体験ブースを設けまして、密集を避けて来場者を楽しんでもらいます。また、体育館ではニュースポーツの体験をすることができます。

2部につきましては、6月26日日曜日の午前10時から正午まで、嶺南ケーブルネットワークで、第1部開催の様子やツナガ君探検隊、子供たちのクッキング体験の様などを放送します。YouTubeや敦賀FMハーバーステーションでも同時配信いたしますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

続きまして、ざぶとん会についてでございます。令和4年度、市民の皆様がまちづくりに関するご意見を直接お聞きするために、ざぶとん会を市内10か所で開催いたします。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、やむを得ず中止してまいりましたが、令和4年度は北陸新幹線敦賀開業まで2年という重要な年となります。感染拡大防止対策を徹底した上で再開いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

続きまして、令和4年度敦賀市職員採用候補者前期試験を実施いたします。

募集職種及び採用予定人員は、お手元の資料に記載のとおりです。受付期間は6月10日金曜日から30日木曜日まで。第1次試験は7月24日日曜日に市立看護大学で行います。2次試験は8月中旬から下旬、最終合格発表は9月上旬を予定しております。

職員募集に当たっては、定員の適正化を念頭に、退職等による欠員補充、年齢バランス等を考慮するとともに、就職氷河期世代を含めたI J Uターンの推進及び即戦力となる人材の確保のため、社会人枠を設けております。なお、短大、高卒程度の事務職、医師等を対象とした後期試験につきましては、7月下旬に募集要項を公表し、9月中旬に第1次試験を実施する予定となっております。

よろしく申し上げます。

それから、令和4年度敦賀美方消防組合消防職員採用候補者試験を実施します。本日、5月30日に公告し、ホームページに掲載します。

受付期間は8月1日月曜日から19日金曜日まで。第1次試験は9月18日日曜日に消防本部で行います。第2次試験は10月下旬、最終合格発表は11月中旬を予定しております。

職員募集に当たっては、消防力の強化を念頭に、各年度における採用バランス等を考慮し実施することといたしました。よろしく申し上げます。

発表項目は以上です。よろしく申し上げます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお

受けたいと思います。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

**【記者】** 大きなところで2項目、聞かせていただきます。

1つは、予算の中で、米国カナダ使節団についてなんですけれども、具体的な時期日程とメンバー、あと先方の面談相手の想定など、今回の使節団の狙う効果について、お伺いします。

2点目は、ウェルネス広場ですが、6月5日が供用開始日になるのかということと、あともう一つ市長にお聞きしたいのは、括弧書きで多世代ウェルネス広場になっていますので、この改修に込めた思いと市民にどういうふうを活用してほしいかというところを具体的に教えてください。

以上です。

**【市長】** ニューヨーク、カナダにつきましては、フランスに行く時期としまして10月16日、17日、18日ですが、その後に回っていったらと思っています。先方の日程もありますので、そこで調整できるかどうか。ユダヤ系の方たちですと安息日というものもありますので、そういうことも含めながら調整して回ってきたい。当然、カナダにつきましては、先日来訪されました山野内大使が、カナダでもユダヤ系コミュニティがあるので、そことのつながりをつくっておくので、ぜひ来てほしいということもおっしゃいました。また、ニューヨークにいらっしゃったということで後任の方とつながっていきたいということも思っていますので、そういうことができたらと思っています。

もう一つ、ウェルネス広場につきましては、多世代型ということで、今まではお子さんとおじいちゃん、おばあちゃんも含めた楽しみができるということで、一緒に行ってもいいし、それぞれの世代で楽しめるような広場ということで、つくっているつもりでございます。

**【観光部長】** 日程でございますが、市長が申し上げましたとおり、パリのほうに向かいます10月の中旬以降、その後の10月の下旬の5泊7日という形で想定をしております。

それからメンバーにつきましては、市長、それから市議会の代表、そして随員、担当者、計6名を予定しております。

お会いする方々ですが、市長からも話がございましたが、在ニューヨークの日本国総領事館の方、それと先般お越しいただきました米国ユダヤ人委員会（AJC）の方々、その他ユダヤのコミュニティに関係ある方々を調整したいというふうに考えております。

カナダにつきましても、先般お越しいただきました山野内大使、そしてカナダでのユダヤのコミュニティの方々にお会いする予定を今後、外務省等と調整しながら決定してまいりたいと考えております。

以上でございます。

**【都市整備部長】** 6月5日、供用開始日でもいいかという確認のご質問があったかと思いますが、6月5日から1次オープンということで供用開始させていただきますので、資料のほうにつけてあるんですけれども、COMING SOON!という遊具が1つありますが、そちらの入荷がいろいろな関係で遅れておまして、6月5日から8月31日まで1次オープンということで開けさせていただいて、9月、グラビティ・レールを施工させていただきますので、10月に再オープンというふうな準備をしておりますので、よろしくお願いたします。

**【記者】** 米国カナダ使節団についてなんですけれども、市長、実際に米国、カナダに訪問さ

れて、どういうふうな交流を深めてきたいなと思われていますか。

【市長】 一つは、アメリカにつきましては、以前ロサンゼルス、シカゴ、ニューヨークと回らせていただいて、その中で、ニューヨークのA J Cの方が来られましたけれども、コロナの中で最初に訪問するのが敦賀なんですとおっしゃいましたので、非常に重要視していただいているのかと思っています。そこでつながりを広げていけたらということを考えています。

もう一つ、アメリカのユダヤ系の人たちの中で、旅行会社を経営していて、富裕層の旅行ツアーを組んでいらっしゃる方もおられると聞いていますので、その方ともお会いし、インバウンドに向けて広げていけたらと思っています。

カナダにつきましては、そこにつながりを持ってそうな場所があるわけですから、そことつないでいただくのと、新しくニューヨークの総領事になりました森美樹夫さん、面識はありませんが交流を深められたらと思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 同じく6月補正のところでお尋ねしたいんですけども、その他補正のところに真ん中辺りに書いてあります「再生可能エネルギーの地産地消に取り組むなど、地域の脱炭素化を推進する経費」、ここの部分をもう少し詳しく、どういったものなのかというのを教えてください。

【企画政策部長】 再エネの固定買取り価格期間の終了しました卒FIT電力、そちらのほうを北陸電力が1 kWh当たり3円分のTポイントを活用できるポイントを付与して買い取っていただきまして、その買い取った卒FIT電力を市の公共施設に活用して再エネの地産地消に取り組みたいというものでございます。実際に買い取った市内で発電された電力を市の公共施設に使用して、市内で発電された電力を市の公共施設に使用して再エネの地産地消に取り組みたいというような事業でございます。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきましてご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へに行きたいと思えます。これも幹事社さんのほうからお願いいたします。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 ちょっと感じていることで、北陸新幹線の開業を2年後に控えていて、もう少し鼻息が荒くてもいいのかなと思ったんですが、まだまだおとなしいかなというのがあって、一生懸命動いていらっしゃる方も一部にはいらっしゃるんですが、もっと広がってもいいのかなという感想は何となく持っているんですけども、その中で、私、取材していて、開業後はこうなるというイメージを経験上お持ちの方というのは動きが早くて、一方で動けてない方というのは、どう変わるかというのがなかなかイメージがつかないという方が多いのかなという感覚を受けていて、その辺のところでは行政が土俵をつくったりとかできるところもあるのかなというのは感じたんですが、機運というところで、市長は現

状をどういうふうに感じていらっしゃるかというところと、あと、実際来るまでの間、ソフト対策であれば十分な時間があると思うので、どんなことを今後やっていきたいか。そういったところのお考えをお聞かせください。

【市長】 前にも話したことがあるんですけども、新幹線が来るということで、機運の醸成というか活性化ということをいろいろやっています。その中で、平成30年の国体では、国体のプレ大会から始まり、物を売るとたくさん売れました。例えば弁当が1日100万売れましたなど話しながら事業者の活性化を図っているところです。

コロナになりましたので、ケータリングの補助もしていますが、ケータリングが出ていて、本町の1、2丁目で毎週土曜日など事業者がいますので、機運的には大分高まってきたのかなと思っています。

もう一つは、人道の港敦賀ムゼウムでは、優しい日本人がいた場所としてアピールしておりますが、そういうところで敦賀市が目的となって降りてもらえるような仕組みをずっとやってきたんです。今この2年間でやらなくてはいけないなと思っていますのは、敦賀だけじゃなくて敦賀以西、また滋賀県北部を含めて、1日では見切れなかったねと。今回見切れなかったのもう一回来ようとかシーズンを変えて来ようとか、そういう仕掛けになるなど、広域観光に取り組んでいきたいと考えています。

だんだんと機運は盛り上がってきていると思います。コロナ感染症が拡大しましたので、一旦休んだような形はありますが、ダイヤモンド・プリンセスが何回か寄港していただき、たくさん人が来たときはこうなるんだというイメージは市民の皆さんも分かっていると思いますので、そのように持っていきたいなと思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、これをもちまして6月の記者会見を終わらせていただきます。

本日はありがとうございました。

午後 1時 56分 終了